

各事業部長の今年の決意

再処理事業部長

みやこし ひろひさ

宮越 裕久

再処理工場のしゅん工に向けて
一丸となって取り組みます

今年は、新規規制基準の審査における説明、工事、検査、訓練等を計画的に進めてまいります。

審査対応は、全体計画通り11月までに説明を終えられるよう取り組んでまいります。

審査に加え、今年は検査が本格化していきます。適切な検査により、設備が設工認の設計通りに施工されていることを確認することが工場の安全・安定運転に繋がるため、アンテナを高くし、問題が発生しないよう、しっかりとチェックしながら対応してまいります。

安全面は、作業安全に加え、冬季を迎えているので転倒災害にも気をつけて、労働災害ゼロを目指してまいります。

地域の皆さまのご期待に応えられるよう、当社と協力会社の皆さんで心を合わせ、再処理工場のしゅん工とその後の操業に向けて、一丸となって取り組んでまいります。

燃料製造事業部長

きたがわ けんいち

北川 健一

「燃料メーカーになる」ため
安全と品質を追求します

今年もMOX燃料工場のしゅん工とその後の操業に向けて、当社と協力会社の皆さんとともに、必ず成果を出すとの思いを強く持って、前向きに、明るく、元気に取り組んでまいります。

設工認、建設、設計・製作、検査ならびに操業準備に同時並行で取り組んでまいります。特に設工認に関しては、第2回分の認可に向けた取り組みと、第3回分の申請と説明を計画的に進展させてまいります。

建設工事は、当社と協力会社の皆さんの安全と健康を守ることを最優先に、労働災害ゼロに取り組んでまいります。

引き続き、「燃料メーカーになる」ために、安全と品質等の追求を意識して取り組み、地域の皆さまにご安心いただける安全なMOX燃料工場を作り上げてまいります。

濃縮事業部長

まき のぶひろ

榎 信弘

日本のトップランナーとして
未来を切り拓いていきます

地域の皆さまにご安心いただくために、ウラン濃縮工場の安全確保に改めて気を引き締めて、当社と協力会社の皆さんで一体となって取り組んでまいります。

今年は、150tSWU/年の生産規模での安全・安定運転の継続に不可欠となる迅速なメンテナンス体制の確立、取替部品等のサプライチェーン確保・強化等、安全・安定運転に支障が出る前に確実に対処できる保全体制を構築してまいります。

また、450tSWU/年への段階的な生産規模拡大に向けて、新型遠心機の製造・更新工事を安全第一で進め、開発・製造技術力の維持、強化等にも継続して取り組んでまいります。

ウラン濃縮分野において、世界のクリーンエネルギーを支える日本のトップランナーとして自らの力で未来を切り拓いてまいります。

当社事業は、何よりも地域の皆さまの信頼があって成り立つものであり、引き続き、当社社員と協力会社が一体となって、安全を最優先に事業を進め、一日も早い原子燃料サイクルの確立に向けてオールジャパン体制で総力を挙げて取り組んでまいります。

埋設事業部長

おうみ ただし

近江 正

3号埋設の運用が始まる
大きな飛躍の年にします

今年は、2号埋設施設の受入・操業が終了し、新たに3号埋設施設の運用が始まる埋設事業の大きな飛躍の年にしてまいります。

1号埋設施設の1群から4群も、覆土の施工方法を確認するモックアップ試験を経て、埋設施設の最終形態である覆土工事に向けて、着実に進めてまいります。

安全面は、当社と地元企業の皆さんの全ての安全・安心を守るために、改めて緊張感を持って、事業運営に取り組み、労働災害を撲滅してまいります。

地域の皆さまに安心いただける事業を継続していくため、当社と地元企業の皆さんと協力して埋設施設の建設と操業を計画的に進め、地域の一員として事業に取り組んでまいります。